

三田市統計書

令和7年版

三 田 市

は し が き

ここに、令和7年版「三田市統計書」を刊行します。

三田市は、穏やかな農村集落の小都市から多様な都市機能を備えたまちへと着実に成長してきました。

新たな魅力を生み、育てるとともに、先端技術や新たな価値観等を取り入れた未来都市を創造すべく、『「ひと」×「まち」×「さと」が織りなす未来都市 三田』の実現をめざして、市民の皆さんとの協働によるより良いまちづくりを進めていきます。

本書は、三田市の産業、経済、福祉、文化など各分野における基本的な統計資料を総合的に収録し、市勢の現状と推移を明らかにしたものです。

本市の変遷を、統計数値を通して少しでもご理解いただくとともに、諸計画をはじめ広く業務上の参考資料としてご活用いただければ幸甚に存じます。

おわりに、本書の刊行にあたり貴重な資料をご提供いただきました関係者の皆様に対しまして、心から感謝申し上げます。

令和8年3月

三田市長 田村 克也

凡 例

- 1 統計資料の最終収録年は原則として令和7年又は令和6年度であるが、資料の性質、累年比較、紙面の都合等により適宜伸縮している。
- 2 各統計表に特別の表示・注釈がない限り、計数は「三田市」の範囲としたものであり、この「市域」は調査時におけるものである。
- 3 数値の単位は原則として四捨五入したため、総数と内訳の積み上げとが必ずしも一致しない場合がある。
- 4 数値の単位は頭注又は表中に注記しているが、一見して明らかなのは省略した。
また、資料の出所機関は統計表の脚注に掲載しているが、特に資料を刊行書等から引用した場合は発行所及び書名を併記した。
- 5 統計表中に「年次」とあるのは暦年（1月～12月）を、「年度」とあるのは会計年度（4月～翌年3月）の1年間の状況を示す。
また、「〇年〇月〇日現在」とあるのは当該日における事実を示す。
- 6 統計表中の符号の用法は次のとおりである。
 - 「0」掲載単位に満たないもの
 - 「－」該当数値がないもの
 - 「…」数値が得られないもの
 - 「・」当該数値の存在があり得ないもの
 - 「×」数値の公表を差し控えたもの
 - 「△」マイナスのもの
- 7 本書に掲載した統計資料で、既刊の数値と相違するものは、本書編集の際に訂正を加え、修正を行った。
- 8 統計資料の利用に当たり、更に詳細な数値が必要な場合や統計数値に疑義がある場合は、三田市総務部総務課、又は当該資料の脚注に掲載された出所機関にご照会願いたい。

総目次

土地	・	気象	1							
人		口	14							
国	勢	調	査	33						
農	林	業	97							
商	業	・	工	業	・	観	光	102		
建	設	・	住	宅	109					
電	気	・	ガ	ス	・	上	下	水	道	113
運	輸	・	通	信	120					
金		融	131							
物	価	・	消	費	133					
労		働	139							
社	会	保	障	147						
保	健	・	衛	生	157					
教	育	・	文	化	171					
警	察	・	消	防	182					
財		政	188							
選	挙	・	行	政	198					